

【トヨタ流カイゼン(自工程完結)シリーズ】

① 段取りを重視した仕事の進め方研修

1.狙い

速やかな意思決定や、資料のやり直しを発生させないためのトヨタの取り組み「自工程完結」の考え方の細部理解と、それに基づく演習による職場での実践を狙いとした研修です。

- 《研修のゴール》
- やり直しなどの無駄なく、生産性の向上を目指す
 - 働くスタッフのモチベーションが上がることによる効果を理解する
 - 組織力の向上に必要な考え方を学ぶ

2.概要

受講対象	時間	人数
中堅社員・管理職	7 時間	～ 3 0 名

3.基本カリキュラム

内容
1. はじめに～自工程完結とはなにか～ ・こんなことはありませんか？ ・本研修のゴール、主旨
2. 自工程完結の歴史 ・ルーツ ・製造からスタッフへの展開
3. 自工程完結の考え方 - P（Plan）NGケースを用いた演習と開設（失敗するメカニズム） - D（Do） C（Check） A（Action） - 段取り[P（Plan）]したものを確実に実行させる（PDCAをまわす）
4. 自身の業務への活用 ・活用事例紹介 ・自業務での活用場面を考える
5. 自工程完結の考え方を活かした上手な業務指示 ・業務指示のポイント

【トヨタ流カイゼン(自工程完結)シリーズ】

②業務改廃

1.狙い

上司・部下と一緒に現在の業務のムダな仕事を「やめる」「へらす」「かえる」ためのお手伝いをします。
仕事が増えるばかりで、改廃の「廃」が進まない方におすすめの研修です。

«研修のゴール»

- 業務が増えがちな状況下において、思い切って改「廃」するコツを学ぶ
- 部下との関わりを見直し、コミュニケーションの良い職場を目指す

2.概要

受講対象※	時間	人数
中堅社員・管理職	5 時間	～ 1 8 名 (6名×3グループ)

※本研修では、事前に【トヨタ流カイゼン（自工程完結）シリーズ 段取りを重視した仕事の進め方研修】のご受講が必要です

3.基本カリキュラム

内容
1. 改廃の視点と進め方 ・①仕事はなぜ増えるのか ②業務改廃の目的は何か ・“やめる” “へらす” “かえる”の視点とは ・①上司の心構え ②改廃の7ステップ 2. 改廃の実践 ・実際の業務を対象に“モヤモヤ”の洗い出しと改廃を実践 ⇒成果・うれしさを体感、スタッフは“モヤモヤ”が無くなりスッキリすることでモチベーションが向上 ・「2.改廃の実践」の“モヤモヤ”を確実な改廃・成果にアプローチ 3. まとめ ・①研修内容のおさらい ②研修後の更なる改廃の進め方について

【トヨタ流カイゼン(自工程完結)シリーズ】

③プロセス改善(業務の見える化)

1.狙い

「業務の見える化」からプロセス改善を行い、同じ失敗を二度と起こさないための改善策について学ぶ研修です。

自工程完結の考え方を活かし、業務改善アプローチを学びます。

«研修のゴール»

- 自工程完結の考え方を活かした、プロセス改善の考え方を理解する
- 既に起こった失敗を改善するのみならず、先手を打つ対策を考えることが出来るようになる
- 自業務に活かせるツールや演習で、研修後も確実に実施を目指す

2.概要

受講対象	時間	人数
中堅社員・管理職	6. 5時間	～30名

※本研修では、事前に【トヨタ流カイゼン（自工程完結）シリーズ 段取りを重視した仕事の進め方研修】のご受講が必要です

3.基本カリキュラム

内容
1. ムダや気遣い作業※をなくすために ①プロセスの見える化 ②攻め所の特定と対策立案、攻め所を見つける7つの視点 ③演習を通して、確実に理解する ④役に立つツールのご紹介 ※気遣い作業とは・・・「大丈夫かな～」と気を遣いながら作業する業務 2. 同じ失敗を繰り返さないために ①プロセスを細分化し原因と発生箇所を特定 ②「攻め所⇒原因⇒対策」と考える ③同じ失敗を二度と起こさないためには ④原因箇所と流出箇所とは ⑤「発生させない対策」のポイント ⑥更に先手を打ちために ⑦演習を通して、確実に理解する

【トヨタ流カイゼン(自工程完結)シリーズ】

④再発防止

1.狙い

トヨタで行っている再発防止の秘訣と手法をお伝えします。再発防止にすぐに役立つ考え方と視点を学べる研修です。

再発防止のポイントである要因分析について深く習得します。

«研修のゴール»

- 再発防止策を検討するためのステップを理解する
- 再発防止に向けて、対策立案と実行までの手順を考える
- 再発防止の共有化と、次に活かす方法を学ぶ

2.概要

受講対象※	時間	人数
中堅社員・管理職	6. 5時間	～30名

※本研修では、事前に【トヨタ流カイゼン（自工程完結）シリーズ 段取りを重視した仕事の進め方研修】のご受講が必要です

3.基本カリキュラム

内容
1. 再発防止の位置づけ
2. 問題の多重構造と因果関係
3. 不具合と再発防止 ～見えている不具合への対策と真因への再発防止
4. 仕事のメカニズム ～故障のメカニズムと仕事のメカニズム
5. 再発防止の基本 ①再発防止の基本ステップ ②不具合のかかわる仕事（部署）の特定から、原因となった作業の絞り込み ③原因作業の不始末の真因追及から再発防止策の立案・実行までの8ステップ
6. 再発防止事例 ～「良い事例」と「悪い事例」を解説
7. 推進部署による再発防止手順 ～社内で再発防止を進める上での視点とプロセス
8. 共有化と標準化 ～貴重な経験と次に活かす方法
9. まとめ ～自工程完結と再発防止の関係